



この挑戦が、未来となる。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ

NEWS RELEASE



ちゅうぎんキャピタルパートナーズ



2026年9月2日

株式会社 ちゅうぎんキャピタルパートナーズ

ちゅうぎんインフィニティファンド3号による 株式会社 WAKU に対する追加出資

ちゅうぎんキャピタルパートナーズ（岡山市 代表取締役 岡田 浩幸）は、スタートアップを出資対象とする「ちゅうぎんインフィニティファンド3号」にて、株式会社 WAKU（福島県南相馬市 代表取締役 姫野 亮佑、以下「WAKU 社」）の第三者割当増資を引受けました。WAKU 社に対しては、2023年9月、2025年7月に続いて3回目となります。

WAKU 社は、「グルタチオンで人類の食を守る」をミッションに掲げ、植物の光合成改善機能や生育改善機能を持つグルタチオンを活用した農業資材の研究開発・製造・販売に取り組んでいます。

2026年3月にグルタチオン由来のバイオスティミュラント^{*1}「WAKUFUL」を発売し、同年8月には岩手県花巻市の自社工場を本格稼働させるなど、社会実装フェーズへと事業を大きく前進させています。世界的な気候変動や人口増加を背景に、農業生産の安定化と環境負荷低減は重要な社会課題となっています。この課題に対して WAKUFUL は、化学肥料の使用量低減と作物のストレス耐性改善や収量増加を支援し、持続可能な食料供給システムの構築へ貢献する有力なソリューションとなることを見込まれます。

また、WAKU 社が今回の資金調達を機に公表した「分裂酵母」の研究開発は、グルタチオン及び新たな高機能素材の探索と生産技術の確立を目指しており、農業のみならず食品、ヘルスケア、環境などへ展開の可能性を秘めています。

WAKU 社は、農業を起点とし、世界的な気候変動・食料問題の解決を目指すとともに、多様な高機能素材を生み出す日本発のグローバル・バイオディープテック企業として、事業展開していくことが期待されます。

ちゅうぎんフィナンシャルグループは、地域から世界の共通課題の解決や新たな産業創出を目指す起業家のチャレンジを後押しし、地域社会のさらなる発展に向けて活動してまいります。

^{*1} バイオスティミュラント：作物の生理的プロセスを刺激・活性化し、高温・乾燥に対するストレス耐性や栄養利用効率、品質向上をもたらす肥料や農薬とは異なるカテゴリーの農業資材。

1. 投資案件の概要

投資先名（本社所在地）	株式会社 WAKU（福島県南相馬市）
代 表 者	姫野 亮佑
事 業 内 容	グルタチオンを活用した高機能農業資材の開発
当 社 H P	https://wakuwakudriven.com

【株式会社 WAKU 代表取締役 姫野 亮佑氏からのコメント】

創業当初、まだ実績も事業基盤も十分ではなかった段階から WAKU の可能性に賭けていただき、今回で 3 回目となるご出資をいただけたことを大変嬉しく思います。WAKU は、グルタチオンを農業領域で社会実装するところから事業をスタートしました。

その挑戦を続ける中で技術と事業の可能性は大きく広がり、現在は微生物の力を活用してさまざまな機能性物質を生み出す「バイオものづくり」企業への進化を目指しています。

これからは日本発のグローバル・バイオディープテック企業へと飛躍する重要なフェーズです。長期にわたり伴走いただいているちゅうぎんキャピタルの皆さまとともに、次の成長を実現してまいります。



左：株式会社 WAKU 代表取締役 姫野 亮佑氏、右：試験に協力いただいた生産者

2. 「ちゅうぎんインフィニティファンド 3 号」の概要

正 式 名 称	ちゅうぎんインフィニティファンド 3 号投資事業有限責任組合
運 営 会 社	ちゅうぎんキャピタルパートナーズ
金 額	2 0 億円
運 営 期 間	2 0 2 5 年 6 月 ～ 2 0 3 6 年 1 2 月（約 1 2 年）

以 上